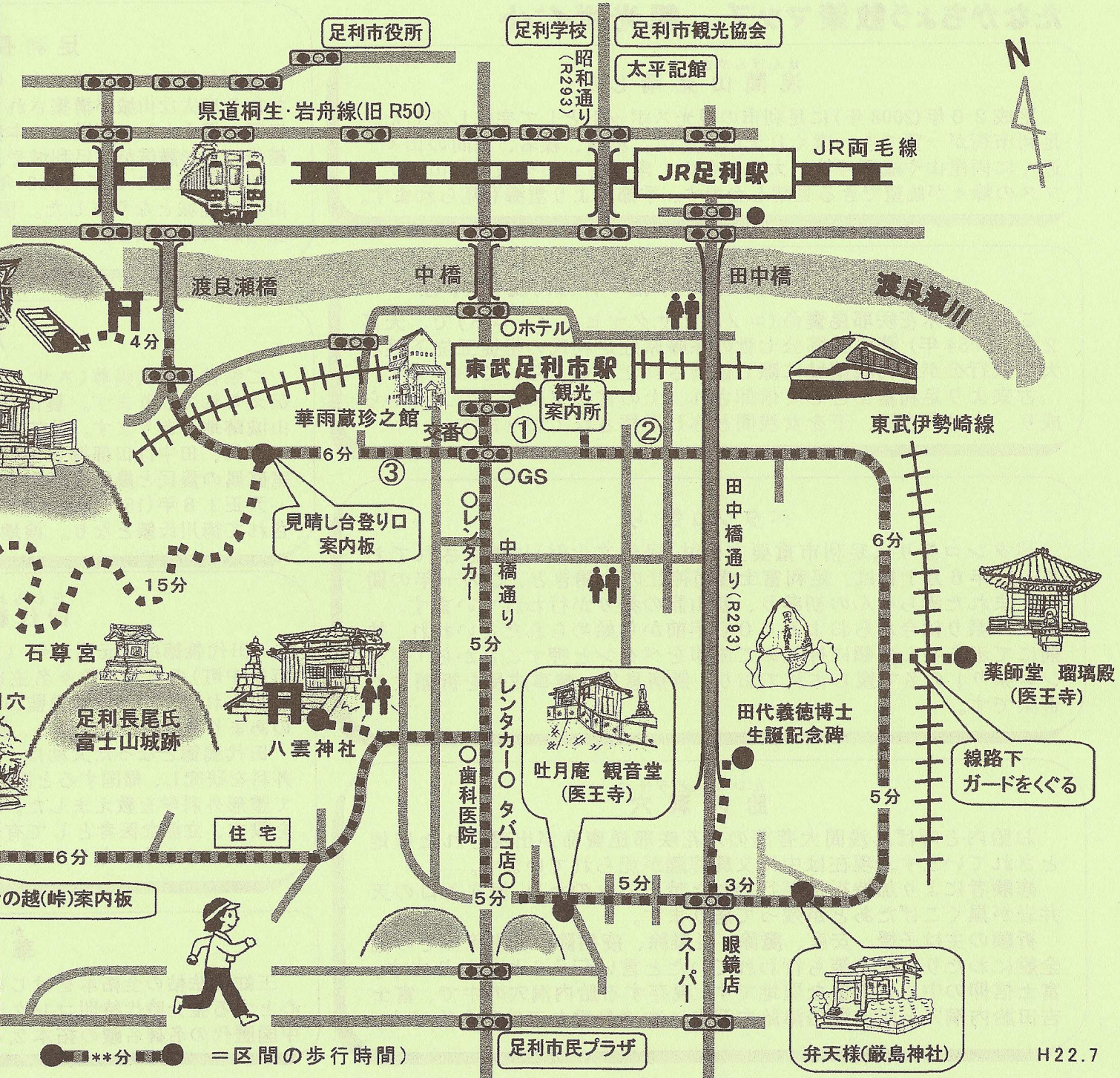


たなかちょう 散策マップ

足利市田中町観光協会



- ご案内
- ①アンタレスビル
 - ②手打うどん
小島屋
 - ③手打らあめん
丸山
- トイレ



たなかちょう散策マップ 観光ポイント

せんげんやま 浅間山見晴し台

平成20年(2008年)に足利市の観光スポットとして完成しました。足利市街が一望でき、遠く日光の男体山、赤城、榛名、浅間の山々、近くに両崖山や織姫神社、太田の金山、南に富士山や秩父連山、アルプスの峰々が眺望できる見晴し台です。季節により雲海も見られます。

うえ せんげん した せんげん 足利富士 上(男)浅間神社・下(女)浅間神社

ご祭神は木花咲耶毘賣命(コノハナサクヤヒメノミコト)で、天喜2年(1054年)藤原秀郷公七世の孫藤原姓足利氏の祖従五位下足利大夫成行公が足利城築城に際し勧請されたと伝えられています。古来より足利富士として信仰され、上の宮と下の宮との二社から成り、上は男浅間、下を女浅間と称し崇拝されています。

ペタンコ祭り

ペタンコ祭りは足利市重要文化財(民俗文化財)に指定されており、毎年6月1日は、足利富士浅間神社の山開きと、この一年の間に生まれた赤ちゃんの初参り、初山詣の祭りが行われています。

この祭りは今からおよそ400年前から始められたといわれ、神前にて赤ちゃんの額に神社のご朱印をペタンと押すことから「ペタンコ祭り」の名で親しまれており、無病息災、無事成長を祈願する奇祭です。

たいないどうけつ 胎内洞穴

お胎内と呼ばれ浅間大菩薩の木花咲耶毘賣命が出現された聖地とされています。現在は中に文珠菩薩が祀られています。

修験者により加持祈祷が行われた焚上の火のため、洞穴入口の天井が黒くこげたあとが残っています。

祈願の主は子授、安産、魔除、災難除、疫病除、害虫除、その他全般にわたり、呪占等も行われていたと言われられています。富士信仰の中でも貴重な聖地です。現存する胎内洞穴の中で、富士吉田胎内洞穴と河口湖船津胎内洞穴に次ぐ貴重な天然記念物です。

ふじさんじょうあと 足利長尾氏富士山城跡

足利長尾氏の出城跡です。戦国時代に足利富士山、浅間山、坊主山にわたり広大な山城が構築されておりました。小田原の北条軍や甲斐の武田軍の備えとして両崖山の本城を守護して来ました。北条軍進攻の時は、越後の上杉謙信が、足利城や、唐沢城まで援軍を率いて来て居ります。

その後天正18年(1590年)に秀吉軍に敗れた長尾氏は壊滅し富士山城は廃城となりました。現在は、本丸跡地や土塁の跡が山林の中に埋もれて居ります。

やくもじんじゃ 八雲神社

ご祭神は素戔鳴尊(スサノオノミコト)で、平安年間に創建されたと伝えられています。裏山に古墳瓦窯跡地、山頂に足利長尾氏の富士山城跡地があります。現在、古墳上蓋岩と、出土刀が保存されています。

古代、田中は田部郷と言ひ、伊勢神宮の神領で御供米を耕作する皇室直属の農民と農地で条理もあり、歴史にその名が残されています。

天正18年(1590年)秀吉軍により足利長尾氏は滅び、神宮領は没収されて徳川氏領となり、検地をされ田中村と改まりました。

たしろよしのり 田代義徳博士生誕記念碑

田代義徳は、元治元年(1864年)7月26日、田中村(今の足利市田中町)の旧家で代々名主をつとめた田部井森平の三男、又助として生まれました。軍医総監田代基徳氏が田部井家に宿泊した時、又助のあまりの勤勉さに感激し、数か月後、養子縁組を申し込んだのです。

田代義徳となった又助は、文部省留学生としてドイツに留学、整形外科を研究し、帰国すると医学博士となり、母校東京大学の教授となって整形外科学を教えました。明治45年(1912年)、東京に田代病院を設立、立派な医者として有名になり、日本の整形外科をはじめた人と言われるようになりました。(資料:足利の人脈-下野新聞社)

かうぞうちんのかん 華雨蔵珍之館

玉虹楼法帖の全拓本をはじめ、曲阜孔子廟の名碑の一揃い、山東を中心とする金元時代特別コレクション、鄭道昭の刻石、漢代画像石など、中国歴代の名碑名蹟の拓本2,000点のうち一部が展示されています。